

↓ ↓
行数 読み
仮名
あり

【第4章】日本の中のいろいろなコトバ

4. 二風谷におけるアイヌ語・アイヌ文化の継承 (p. 108)

4	*	樺太	からふと	北海道の北方に連なる南北に長い島。サハリン。
5		本拠地	ほんきょち	活動の中心、よりどころ、支えとなる場所。
6	*	土人	どじん	①もともとからその土地に住んでいる人。土着の人。 ②原住民などを軽侮していった語。
6		同化政策	どうかせいさく	本国や支配民族が、植民地原住民や国内少数民族を自分たちの生活様式・考え方になじませ、一体化しようとする政策。
14	*	字	あざ	市町村内を細分した区画の名。
35	*	語り部	かたーりーべ	昔から語り伝えられる昔話、民話、神話、歴史などを現代に語り継いでいる人。
43	*	進水式	しんすいしき	建造した船舶をはじめて造船所から出して着水させる式典。船舶の完成を祝する意味で行われる。
47	*	櫂	かい	船を人力で進めるための棒状の船具。棒の先端を翼状に削ったもので、舷にかけて水を掻いて船を進める。
47	*	棹	さお	①枝・葉を取り払った竹や木の細長い棒。物干し竿・釣り竿・旗竿など。合成樹脂・金属製もある。②水底に突っばって舟を進ませる長い棒。水棹（みさお）。
47	*	操る	あやつる	①物を動かして使う。操作する。 ②うまく取り扱う。巧みに使いこなす。③意のままに人を動かす。特に、自分は陰にいてうまく人を利用する。
51	*	祝詞	のりと	儀式など改まった場面で、神を祭り、また、神に祈るときに神前で唱える古体の言葉。
52	*	門出	かどで	①旅などのために、自分の家を出発すること。 ②新しい生活を始めること。
64		訴訟	そしょう	訴える者と訴えられる者を当事者とし、裁判機関が第三者としての立場から裁判をなす手続き。